

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Onehand II (ワン・ハンドII)		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 10日		R8年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	R8年 2月 10日		R8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動の充実性・身近に体験できないことができ自己肯定感をあげることができる。	毎月の活動の変化。季節の感じ方。個々のニーズに対応し成功例を重ね達成感へつなげ成長できる環境であること。	個々の特性を生かしコミュニケーションの取り方の学びの在り方。気持ちの切り替えができるようになる。体幹トレーニングによるけが予防や姿勢保持ができるようになる。
2	第三者委員会の設置	今年度より、苦情解決者を相談の上設置することができている。	第三者委員会にて、苦情解決やその他問題が発生した際はご意見を求める次第であり相談もしやすくなっている。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所のマニュアル化は作成しているが、ご家族様へ周知ができていない状況である。	情報の伝達を強化できるように推進する。	月1回の活動計画や広報・Instagramなどを活用し情報強化に努める。次年度は、ホームページ更新作成にてR8年4月上旬に掲載する。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	Onehand II (ワン・ハンドII)						公表日	R8 年 4 月 10 日	
						利用児童数	R8 年 2 月 20 日 回収数 9		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7			2		静と動の活動場所を分けるなど安全かつ安心して過ごせる環境づくりを行っています。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7			2		基準以上の配置を心掛け、児童一人ひとりに目が行き届くよう職員同士で役割分担を行っています。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1		2	バリアフリー化自体がわからない。	バリアフリー化について保護者へ具体例を用いて説明するなど理解しやすい情報提供を行っています。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7			2		生活空間の清潔保持と整理整頓を心掛け、子どもたちが安心してのびのびと過ごせる環境づくりに努めています。		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7			2		特性や発達状況を把握し、個々に応じた支援が行えるよう職員間で情報共有を行い専門性の向上に努めています。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			1		実際の支援内容と合わせて分かりやすく保護者へ説明し、理解していただけるよう情報発信に努めています。		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8			1		一人ひとりの状況や保護者のニーズを把握し、職員間で共有しながら適切な個別支援計画の作成に努めています。		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			1		ガイドラインに基づき、子どもに必要な支援内容を適切に選択し、具体的な支援につながる計画作成を心掛けています。		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7			2		作成した計画を職員間で共有し、計画に沿った支援が継続的に見えるよう内容の確認や振り返りを行っています。		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8			1		興味や発達状況に合わせて活動内容を工夫し、様々な経験ができるようプログラムの充実に努めています。		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4		1	4		今後検討しながら子どもたちが地域の中で様々な経験ができる機会づくりに努めていきます。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9							
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9							
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	2	4		保護者の方が参加しやすい形での情報提供や研修等の機会について検討し、家族支援の充実に努めていきます。		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	8	1				送迎時のやり取りや連絡帳等を通して子ども様子をより丁寧にお伝えし、共通理解が図れるよう努めています。		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1				面談の機会や日々のやり取りを通して保護者の方の相談に丁寧に対応し、情報提供や助言に努めています。		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8			1		子ども一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、共感的な関わりを大切にしたい支援に努めています。		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1			1	7	父母の会の活動についてはわかりませんが、保護者会はなかったですが、家族も来られるイベントの開催はありました。	昨年は秋祭りなどのイベントを行っていましたが、今年は実施できずだったので今後は保護者同士の交流の機会や情報発信について取り入れていきます。		

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7			2		子どもや保護者からの相談や申し入れに対して迅速かつ適切に対応できるよう体制の周知を行い、安心して相談できる環境づくりに努めています。
	20	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	1		2		子どもや保護者との意思疎通や情報共有を大切にし、今後も丁寧で分かりやすい情報伝達に努めていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			2		非常災害の発生に備えて子どもたちや職員が参加する避難訓練等を定期的を実施し、安全確保に努めていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7			2		子どもの安全確保に関する計画に基づき、保護者への周知を図りながら安全管理の徹底に努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1		1		事故等が発生した際には速やかに保護者へ連絡するとともに、状況について説明し再発防止に努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	2				子ども一人ひとりが安心して通所できる環境づくりを大切にし、職員一同丁寧な支援に努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	1				子どもたちが楽しく安心して通えるよう、活動内容や関わり方を工夫しながら支援の充実に努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Onehand II (ワン・ハンドII)				公表日	R8 年 4 月 10 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	保護者アンケートの結果を参考にしながら、支援内容や事業所運営の見直しを行っている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	年1回の外部評価はあるので把握はしています。初めてのことなどであまり理解を自分自身していません。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8					
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8					

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		次の日に行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1	今後、地域の児童発達支援センターとの連携を深め、必要に応じて助言や研修を受ける機会を設けていきたい。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	保育園やこども認定園、幼稚園の交流の機会はありません。それぞれの行事に関わる機会が難しいのが現状であります。	今後は、機会を見ては活動機会ができるように努めてまいります。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	家族参加や情報共有があまりできなかったと認識しております。	今年度は、家族参加の研修機会や情報共有を行えるようにしてまいります。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	今年度は父母の会参加活動など行っていないが、兄弟間姉妹間での交流の機会は設けさせていただいております。	前年度は、運動会や秋祭りなど保護者様同伴での交流を実施していましたが、今年度は他事業所との交流を重視いたしましたので機会を作れずいました。次年度は両立できるように計画させていただきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	ヒヤリハット事例を職員間で共有・記録し、原因の確認や再発防止に向けた対応策について話し合いを行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	虐待防止のため委員会の設置や職員研修を行い、職員の理解を深めながら適切な対応ができるよう取り組んでいます。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載し適切に対応することとしているか。	7	1	現時点では身体拘束を行う事例はないが、必要な場合には保護者への十分な説明と同意を得た上で、児童発達支援計画に記載し適切に対応することとしている。	